

渥美 どろんこ村

~地球46億年の営みから学ぶ~

法人・団体向け
研修プログラム



A 地球1個分の暮らしプラン ～地球46億年の営みから未来を創造する～

※どろんこ村で実施できる
プログラムの一例です。
時間や体験内容は、研修目的に応じ
てアレンジ可能です。

どろんこ村では、人・いのち・物質・エネルギーが一つ一つ繋がり、
全体として循環を生み出しています。

体験を通じて、
都市生活では見えにくい「社会の根底にある関係性」を自分自身の感覚として捉え直し、
それにより持続可能な世界、つまり「地球1個分の暮らし」を創造する機会を提供します。

10:00

オリエンテーション

10:30



豚のごはんづくり

食品廃棄物や酒粕、地元の魚屋のアラなどを使って豚のえさをつくり、餌やりをする。大量に食べ物が廃棄される社会のあり方やエコフィードの課題を考えることで、循環型社会への意識を高める。

11:15



地球46億年の 歴史ロード

地球46億年の歴史を10m=1億年で表現した歴史ロードを歩き、自分の存在を俯瞰的に捉える。長い時間軸を持った持続可能性の視点から将来を設計する思考を学ぶ。

11:45



藁だきご飯

昼食で食べるお米を、稲藁を使って炊飯する。資源を余さず活用すること、畑を通して循環することを学ぶ。チームで協力して火を維持することで、仲間深まる。

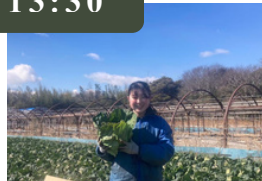
12:30



昼食：どろんこ村の 豚のしゃぶしゃぶ

飼育を体験したどろんこ村の豚をいただき、いのちのつながりとおいしさを実感する。野菜は、すべてどろんこ村で生産されたものを使用。（ご希望に応じて他の料理に変更可能）

13:30



営みから捉える 有機栽培

季節に応じて、野菜の収穫や種まき、土づくりを体験し、有機農業での野菜生産を学ぶ。微生物の力を利用した堆肥づくりや自然を相手にした仕事の面白さを感じる。

14:30



意識を見つめる ワークショップ

体験を通して感じたことや、自分の意識の変化を客観的に見つめ、明日以降の行動へとつなげるワークショップ。「時間・空間・エネルギー」の視点から、循環型社会を思い描く。

15:30

アンケート・解散

参加料金
地球一個分の暮らしプラン
お一人様 11,500円

以下の料金が含まれています。
・体験プログラム費用
・ワークショップ
・食事（平飼い豚のしゃぶしゃぶ・季節の野菜）

B 自然と農のエネルギー循環プラン

平飼い豚を中心とした食品廃棄物の循環と、地域の畜産と連携した堆肥の循環を、実際にその一端を担うことで実感するプランです。

- ・豚のえさ作り
- ・畜産廃棄物の堆肥化
- ・蕷だきご飯・しゃぶしゃぶ



C チームビルディングプラン

非日常な自然の環境で、仲間と協力して活動することで、一体感を醸成し相互の仲を深めます。竹の切り出しや、料理や食器づくりを、協働して創意工夫します。

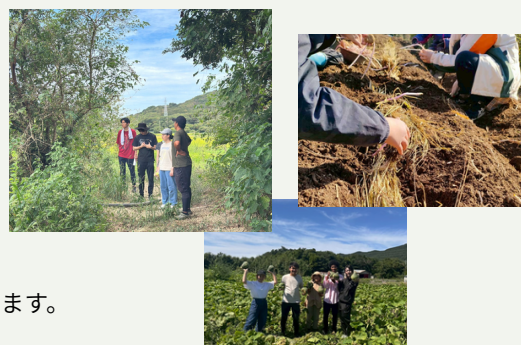
- ・里山の竹刈り・竹の食器作り
- ・里山の整備と燃料集め
- ・蕷だきご飯・食事づくり



D 新人社員向け研修プラン

地球規模の営みを感じる歴史ロードや、身近な営みである野菜・動物の世話、地域資源の活用等を体験する中で、自分自身が、経済・社会・環境等にどう影響されているのかを見つめ直し、その中で自分の仕事や生活を、どのようにつなげるのかを考えるきっかけとなります。

- ・地球46億年の歴史ロード
- ・豚のえさ作り
- ・野菜の収穫
- ・蕷だきご飯・食事づくり



このような企業様に

持続可能性への意識改革、行動変容を目指している。

非日常な空間で、立場を超えた議論を生み出したい。

自然の中でリフレッシュし社員の福利厚生を高めたい。

循環型社会や地方創生への貢献をアピールしたい。

実施事例

サーラ不動産株式会社様

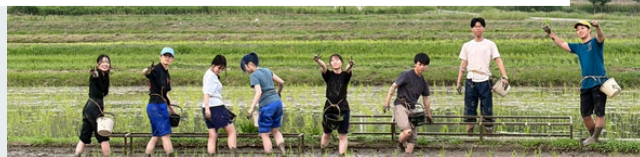


農業分野との連携への意識醸成のため、農業体験を通して生命の循環や自然との共生を学ぶ場を設計。

参加者の声

どろんこ村の体験は、普段見えない「食の前段」にある膨大なエネルギーを可視化してくれました。「自分が循環の輪の中にいる」という感覚は、オフィスでは得られない力強い実感でした。

大阪大学 社会ソリューションイニシアティブ様



社会や環境とのつながりを、自分ごととして捉え直すことを目的とした1泊2日のプログラム。

参加者の声

うんちの循環の仕組みは特に印象的で、今まで資源の循環というリサイクルや再利用ばかりを考えていたが、食べ物を食べてうんちをしてそれがまた食べ物の肥料になると、自分を実際に循環の中に入れることの大切さと尊さを学んだ。

よくあるご質問

雨天時の対応について

体験施設があるため、雨天時でも屋内での実施に切り替えながら体験可能です。

宿泊を含んだ体験について

どろんこ村の施設で、10人程度受け入れ可能です。また、近隣のホテルと連携して、大人数の宿泊に対応することも可能です。



受け入れ可能人数について

体験内容にもよりますが、5名～30名程度を基本としています。大型バスの駐車も可能です。

アレルギー対応について

アレルギーに対応して食事を準備いたします。

実施までの流れ

無料相談

目的・対象層・人数・時期を簡単にお聞かせください。オンライン・電話どちらでも対応します。



プラン提案

既存のプラン、またはオーダーメイドプランを、タイムスケジュールと共に提案させていただきます。



事前打ち合わせ

実施前に30～60分程度、オンラインで不明点の解消や細かな要望のすり合わせを行います。



プログラム
実施

メッセージ

私たちの考える基本は、育てて食べる暮らしです。その暮らしの中で、いのちのつながりを実感し、自分自身の意識を育んでいくことを目指しています。

「育てて食べる暮らし体験」に参加し、いのちのつながりを実感した子ども達が、元の暮らしに帰り成長する中で「どうしたら他のいのちと共存していけるのか」と考え、模索し、自分自身の意識を見られるようになることが、私たちの願いです。

それは一人一人が自分の意識を自分で育むことでもあります。その上で「自分の人生は自分で選択する」子ども達が増えていけば、きっと世界は少しずつ変わっていくと信じています。

「地球1個分の暮らし」は、そんなふうにわたしたち自身がいのちのつながりに気づき、変わっていく先に実現するものだと思っています。

渥美どろんこ村
小笠原 弘、渡部千美江



アクセス

自動車

東名高速道路 音羽蒲郡ICから約1時間
または、豊橋駅から約45分

公共交通機関

豊橋駅から豊橋鉄道渥美線で約35分→
豊鉄バス伊良湖本線で約20分→徒歩5分



お問い合わせ

合同会社渥美どろんこ村 企業研修担当

メール：atumi@doronkomura.com
電話：0531-37-0996



ホームページ

<https://www.doronkomura.com/>